

# EIWA UNIVERSE

第28号

発行日 2023年8月25日

## 2023年度 入学式

### ハイライト:

- 2023年度 入学式 (1p)
- ボランティア講演会の開催 (3p)
- 新入生歓迎交流会の開催 (7p)
- 後援会だより (8p)

### 目次:

学長言	2
宗教委員会 ボランティアセンター	3
学科ニュース	4
研究室探訪 キャリア支援課	6
留学生センター 学部事務室	7
後援会	8

2023年度の入学式は、短期大学部が午前10時から、人間社会学部（4年制）は午後1時30分からの2部制で、新館楓ホールで執り行われました。今年度は昨年度と比べてコロナウイルス感染症は収まりつつあり、密にならないよう座席の間隔を空けて配置されましたが、参加希望の保護者の方は、新館ラウンジでモニターをご覧いただき、また学生はマスクを着用するか自身での判断に委ねられました。

新入生は編入を含め大学に179人、短期大学部に110人。合わせて289人です。

讃美歌と聖書の朗読・祈祷のあと、学長から入学許可宣言がなされました。新入生の宣誓は、短期大学部は、現代コミュニケーション学科の相川実咲さんによって行われ「一人一人の目標に向け、新しい仲間とともに多くのことを吸収し、自身の成長に努めていくこと」を誓いました。人間社会学部は、乾すみれさんによって行われ「本学の学生としての自覚を持ち、長いようで短い4年間の学生生活を、友人と互いに協力し合いながら、自身の持つ夢へと前進していくこと」を誓いました。

永山学長は、式辞の中で「皆さんには、この静岡英和で、学際的な知識や多面的な思考力、ならびに即戦力となる技術や資格を身に付け、地域社会と人間社会に貢献する国際的感覚豊かな平和な社会を作っ

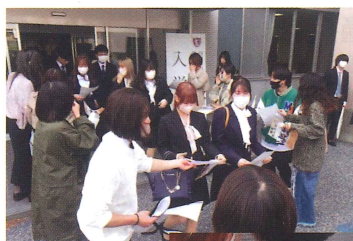


ていく人材になってほしいと願っています。」と述べられました。

また4年ぶりに解禁となったサークル勧誘が行われました。新館の出入り口で、先輩たちが入学



式を終えた新入生に用意したチラシを配り、自分たちのサークルの魅力を売り込みました。新入生は、サークルからの勧誘を受け、あらためて大学生になったことを実感したのではないのでしょうか。高校とは全く違う、大学・短期大学部での学びや生活が、爽りの多いものになりますように。（企画部 川口）



入学式当日の写真や動画は、YouTubeやInstagramで

ご紹介していますので、ぜひご覧ください。



## コミュニケーションとは、「ただ伝える」だけではなく、 「思いを相手と共有する」こと

学長 永山 ルツ子

みことば

「御言葉はあなたの近くにあり、あなたの口、あなたの心にある。」

てがみ しょう せつ

(ローマの信徒への手紙—10：8ローマの信徒への手紙—10章8節)

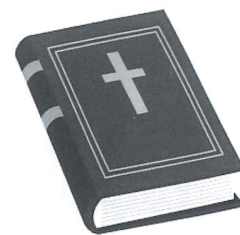


永山 ルツ子  
(ながやま るつこ)  
学長

聖餐式せいさんしきといって、キリスト教会きりすとくわいでは、復活祭ふっかつさい、イースター、ペンテコステふんてこすての日は、小さな器ちい うつわで赤ワインあかを飲みパンののかけらたを食べるといぎしきう、儀式ぎしきがあります。赤ワインあか、つまりキリストかみすなわち神ちの血いを意味みし、パンからだは身体あらわを表してあらわいます。

神せいの聖なる血しんじやと身体きやうゆうが信者しんじやと交わり共有きやうゆうされるこの儀式ぎしきを、ラテン語で「共有」を意味するコミュニオン(Communion)といます。英語のCommunicationあいてです。このように、コミュニケーションとは、相手と共有することを意味するのです。祈りとは、一方的な自分の願いのいをかなえるための手段いっぼうてきではなく、神じぶんとの親しい交わりねが、つまりコミュニケーションだと思しゅだんいます。聖書の言葉した まじを通して神からのコミュニケーションせいしよ、つまり語りかけを聞くことができるのです。

世界だけではなく私たちの身近なところでも、色々な争いごとが起きています。コミュニケーションとは、一方的に「ただ伝える」だけではなく、「思いを相手と共有する」ことではないでしょうか。自分自身の言葉や、考え方、文化などを一方的に押しつけていませんか。私たちは、相手との違いを認めつつ、お互いに助け合う必要があります。私たちは、これまで育った環境、言語や文化など、背景が違かんきやううからこそ、相手の考え方や文化を尊重し、一緒に学びあげんごい、協力することで、成長することができるのです。建学の精神を胸に、皆さんには、この静岡英和学院大学で学んだ知識や経験を活かし、多様性のある平和な社会を作る人間として活躍してほしいと願っています。本学はじめ、世界中の学生たちの学びの場やコミュニケーションの場が安全で平和に守られますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン





## 宗教委員会

いつも本学のためにお祈りくださり感謝します。宗教主任の佐々木謙一です。2023年度も神様の祝福により、無事に新しい学期をスタートすることができました。感謝です。ただ、新型コロナウイルスの対策は緩和されたものの、いまだ予防や注意に気をゆるすことが出来ない状況が続いています。そのような中、例年4月に行われていた新入生の「スチューデント リトリート」は、9月に行われることになりました。2020年から実施されることがなかった「スチューデント リトリート」ですので、半年遅れではありますが、実施できることには大変感謝し、とてもうれしく思っております。

また、チャペル礼拝は昨年と同様に、1年生を出席番号奇数、偶数、短期大学部と3つに分けて行っております。司会をしながら様子を見ておりますが、入学式直後に比べると、聖書や讃美歌の開き方もだいぶ慣れてきて、チャペル礼拝への出席にも積極性が見られるようになってきたと思っております。

また、宗教委員会として常に学生の皆さんに何をしておられるかを考え

ておりますが、そのような中で、静岡市近郊の教会からは是非協力させていただきたいという声をいただき、前期、後期それぞれに牧師先生たちより、お話をさせていただくことになりました。また、学院長の柴田先生、学長の永山先生には、毎月1回お話をさせていただくことになり、委員一同大変感謝している次第であります。

このように、4月からチャペル礼拝を中心に活動をさせていただいておりますが、今後の活動として、定期的に学生参加型の「お祈り会」を実施することを考えております。また、秋には創立記念礼拝、冬にはクリスマス礼拝を予定しておりますが、学生に声をかけて手伝っていただけるようにしていきたいと思っております。

最後に、わが静岡英和学院大学は、聖書の教えを基盤とした教育を行っているキリスト教プロテスタントの大学であり、イエス・キリストが教えてくださった「求めなさい、さらば与えられる」という言葉を胸に、学生への教育に励みたいと思っておりますので、どうかご支援のほどよろしくお願いいたします。

(宗教主任 佐々木)



## ボランティアセンターだより

### 新企画！ボランティア講演会の開催

ボランティアセンターでは、今年度から「ボランティア講演会」を実施しています。外部から講師をお呼びし、活動内容の紹介等してもらうことで、ボランティアに関しての

知識を高めるとともに、活動への意欲を高め、学内外で活躍する人材を育成するための一助になればと思い企画しました。5月は静岡市社会福祉協



議会の方をお呼びし、ボランティア全般のことや社会福祉協議会の活動をご紹介いただきました。講演の中で、親切とボランティアの違いは、よりよい状態を目指す創造性

だということ、何十年も継続している活動が良いのではなく、社会で何が必要とされているかを常に考えて、活動内容を変化させていくことが重要であるとお聞きました。学生スタッフとともに、学内外で何が必要とされているのかを考え、よりよい社会を創造していけるよう、ボランティア活動を通じて地域とのつながりを深めていきたいと考えています。

(学生課 荒川)



# 人間社会学科

4月1日より新しく着任いたしました佐々木謙一です。まだ、わからないことばかりですがどうぞよろしくお願いいたします。学科の活動は以下のとおりです。

心理メジャーでは、今年度から、公認心理師資格を持つ、臨床心理学を専門とする桑島隆二先生が赴任されました。本学は公認心理師資格要請に対応した教育カリキュラムを備えていますが、今まで以上に充実した指導・教育体制となります。

観光地域デザインメジャーでは、新たに郭育仁先生が着任されました。郭先生は「観光学」「地域文化政策学」が専門で、インバウンド観光についての業績も豊富です。メジャーとして地域連携にも力を入れており、さらなる充実を目指しています。ご期待ください。

英語メジャーでは、コロナ禍による留学が停止していた期間、海外渡航を心待ちにしていた学生がおります。先ほど早速、オーストラリアでの短期留学を再開し、2名が奮って渡航しました。TOEICや英検、e-learning教材に挑む学生を含め、教員一同サポート激励を重ねています。

日本語文化メジャーでは、日本語検定を推奨し、学科で受検料の補助もしています。昨年は16名が合格し準認定は3名でした。また、国語の教員免許の取得希望者も増え、毎年、教職に就く学生がいます。共に努力が必要で、さらなるチャレンジに期待しています。

会計学ゼミでは、資格取得に力を入れています。資格取得の状況は、日産簿記3級が3人、日商簿記2級が1人、秘書検定3級1人、ITパスポート1人、日商簿記初級は5人です。経営学ゼミは今年度も起業について、卒業生や静岡市産学交流センターの講師から学ぶ予定です。

人間社会学科は留学生も多く在籍しています。このように、国際色豊かな学科ではありますが、教職員一同全力で静岡の地に優秀な学生を送り出すように頑張っています。また、皆様のご支援があってこそ人間社会学科ですので、これからもよろしくお願いいたします。

(人間社会 佐々木)

# コミュニティ福祉学科

主の御名を賛美し、再臨まで私達と共に歩んで天の御国まで導いて下さる主を崇めます。

2023年3月、本学科の玉井 紀子先生（福祉心理メジャー所属、2014年4月着任）と池田 邦子先生（保育・幼児教育メジャー所属、2019年4月着任）とが本学を退職されました。両先生のこれまでの本学や本学科でのご尽力とお交わりに心から感謝するとともに、これからも各先生の上に主の豊かな祝福と招きがありますことを信じ、主に感謝致します。

また、同4月から、田口 喜久恵先生（ご専門：健康教育学、人間発達学、身体教育学）と片川 智子先生（ご専門：小児看護学）が、特例教授として本学科へ着任されました。各先生へ主の豊かな祝福とキリストへの招きがあることを信じ、主を賛美致します。

2023年度から本学科にソーシャルサービス・イノベーションメジャーが新設されました。カリキュラムは2022年度までに整えられ、「2023履修要項」の95頁には、同メジャーの資格別履修モデルが2023年度入学生用として記載されています。入試パンフレットや本学HPへの記載が遅れておりますため、折込の案を学科で作成し、2023年6月13日に入試課に作成いただき、同18日のオープンキャンパスから入試パンフレットと共に折込配布しています。大学HPへの記載については林学部長から急ぐようお口添えをいただいたとのことで感謝です。実はメジャーの新設について2020年度から学科会で検討に入っておりました。

本学や学科に対する主の尊いお導きに感謝です。主にのみ栄光がありますように。

(コミ福 中原)



## 現代コミュニケーション学科

### 高校生みなさん、サマーカレッジ「失敗の心理学」で失敗を学びましょう

「失敗の心理学」を今年から夏休みの集中講義として開講します。8月8日（火）から8月10日（木）の3日間、1限から5限まで一気に行います。

失敗は、私の一番の専門領域であり、見間違いや聞き間違いから考え方の間違い、記憶違い、言い間違いやし間違い、～忘れに至るまであらゆる失敗がなぜ起こるのかを心理的に説明します。1日5時限を3日間連続で受けるのは大変と思われるかもしれませんが、じっとイスに座ってノートをとりながら聞いているような授業ではありません。私が実験で使った課題や静岡科学館・く・くや国立科学博物館での体験展示で用いたさまざまな課題を体験してもらいます。また、知識を詰め込むことよりも自分に置き換えて考え、心理学の面白さや視点を身につけることに重点を置いて

ていますので、毎授業半分はグループディスカッションやグループワークを行います。

集中講義を受けることにより、失敗防止のきっかけをつかむことができるかもしれません。また失敗を心理学的に考えることで、失敗そのものがとても興味深いものに思えるようになります。そして、他人の失敗に優しくなれます。

さて、今回この集中講義は、一般の方にも開放されます。特に、高校生は無料で受講することができます。また、静岡英和学院大学短期大学部に入学することになったときには、この科目の単位申請することができます。すなわち、短大の単位を入学前に取得することができるのです。3日間、一緒に失敗を学びましょう！



(現コミ 重森)

## 食物栄養学科

2020年以降、本学院キャンパスも登校制限や大学行事・課外活動の中止、オンライン授業、学外栄養士実習の学内振替実施など、想定外の学びや学生生活を経験することとなり、新型コロナ感染症による大きな影響を受けました。コロナ禍から3年が経過した2023年5月8日、感染症の扱いが2類相当から5類へと変更されましたが、完全な終息ではありません。共存しながらの新たな社会生活の始まりです。

2023年3月、マスク着用が緩和されつつも、昨年度同様に卒業生と教職員のみでの卒業式を挙行し、入学時から少人数で個性豊かな学生たち41名が社会へと巣立ってゆきました。卒業時の資格取得状況は、栄養士34名、フードスペシャリスト5名、フードサイエンティスト12名、日本茶アドバイザー2名、チーズ検定22名でした。栄養士に加えフードスペシャリストとフードサイエンティストの取得が3名、日本茶アドバイザーとチーズ検定を合わせた5つの資格を取得した強者1名もおりました。

本学では、給食栄養分野を担当しています。給食実習は、実際に食事の提供を伴う授業のため、はたして提供時間に間に合うのか、想定外の献立になるのか、毎回ドキドキ、ハラハラの連続ですが、実習を通して顔つきや、取り組む姿勢が変化の様を見ると、栄養士としての道の半歩を踏み出せたかなと、誇らしい気持ちになります。皆様も学生の成長を見守りつつ、提供される給食を楽しんでいただけたら幸いです。

田崎仁美



また、卒業生9名が第37回管理栄養士国家試験（2月26日実施）で合格を勝ち取りました。国家試験受験のために卒業後3年以上の栄養士の実務経験を積み、仕事と受験勉強を両立した卒業生らの努力を称賛します。このうちの1名は教務職員車塚亜咲季さんと、教員一同の喜びもひとしおです。在学生達も、先輩の後に続き社会に貢献できる管理栄養士を目指してほしいと願っています。

2023年4月、新1年生54名（男子4名、女子50名）が入学しました。また、新たな学科メンバーに、昨年10月に助手長谷川菜美さん、4月から給食管理学担当の田崎仁美先生を迎えました。学科教職員一丸となって、栄養士資格に加え様々な資格取得を支援し、食の専門家養成のために在学2年間の学びを充実させていきたいと考えています。

(食物栄養 望月)

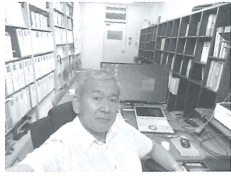
前職は薬局や総合病院などの医療機関で事務仕事のかたわら糖尿病・痛風患者、乳幼児を対象に栄養相談を行っていました。

実験・実習の助手は初めてのため、操作法や原理、手順を勉強しながらの毎日です。やりがいや目的を探しつつ、準備を頑張っています。趣味は子供と遊ぶこと、映画鑑賞です。

長谷川菜美



## 研究室探訪



**梓川 一**  
(あずさがわ はじめ)  
所属:コミュニティ福祉学科学科  
職名:教授  
専門分野:  
「社会福祉学」  
「福祉教育学」

梓川研究室は、東館104です。私は関西で生まれ育ちましたので、もちろん関西弁を操ります。なので、研究室を訪れますと、根っからの関西弁を浴びることになります。そんな私の研究室に、学生たちもよく来てくれて、よくお話をしてくれます。学生たちは研究室内で眺めて、おもむろに、先生はA型ですか、と。いえいえ、研究の状況によっては、O型の研究室にも変身します。

研究室には、社会福祉以外の文献も多数あります。四輪駆動車（CCV）などで自然を満喫することが、実は社会福祉以上に専門かもしれません。まあそろそろ、断捨離すべき年齢にあることは自覚し始めています。

ゼミメンバーはみんな心優しく、私はいつもゼミが楽しみで、翌週のゼミが待ち遠しいのです。ゼミでは、様々な人生の物語に向きあい、「生きること」を体感しながら、「生きることの意味」を考えていきます。私が思うゼミは、居場所であって、豊かな



好奇心をもてる、そして仲間で語りあい、自由な発想やアイデアが生まれてきて創造する、これです。

学内では複数のサークルの顧問をしています。コミュニティ研究会（通称：「あずサークル」）は、私の地域福祉論を受講した学生たちが自発的・主体的に作り出したサークルです。昨年に静岡県議会の意見交換会に参画し、そこから住みよいまちづくりを考えあい、社会活動や社会貢献に取り組んでいます。

私の専門・研究テーマは、難病ソーシャルワーク、ナラティブ、ピア・サポート実践です。例えば、「人生の質的転換」「苦悩の本質」「社会環境と生活支援」「ソーシャルワークと科学の融合化:原点回帰」「苦悩の語りと価値認識の変容」などをテーマに執筆し、さすがに本気の本気で研究しています。

障がい、難病、がんと生きる方々とともに、自分らしい・ありのままの人生（人生の物語＝ナラティブ）を語りあい、これまで歩んできました。こんな私は、ほんとに幸せ者です。こうした研究・活動・実践は、いつのまにか、私のライフスタイルになっています。きっと、私の人生になっています。



## キャリア支援課

### 2023年度「保護者ができる就職支援セミナー」 「フォロー講座」について

5月20日（土）に就職を希望する大学1年～3年生、短期大学部1年生の保護者の皆様を対象に、2023年度第1回「保護者ができる就職支援」セミナーをオンラインLIVE配信で開催いたしました。キャリア支援課より、2023年3月卒業生の就職状況などの報告後、聖徳大学ラーニングデザインセンター 准教授 天川勝志先生を講師にお迎えし、ご講演いただきました。当日の様子はオンデマンド版として配信中です。第2回「保護者ができる就職支援」セミナーは、例年より早めの11月25日（土）に開催します。本学H P及び郵送物で対象学年の保護者の皆様へご案内いたします。是非、ご参加ください。

近年、就職活動開始は早期化し、夏のインターンシップ等への参加も一般化しております。こうした状況に対応できるよう、大学3年次には「キャリアデザイン演習」の受講を通して、就職活動の

準備を進めていきます。短期大学部1年生は、後期の「キャリアプランニング演習」が必修科目ですが、

大学は選択科目です。大学3年次に授業を履修するためには、1・2年次からきちんと履修計画を立てる必要があります。

キャリア支援課では「フォロー講座」も開催しております。「夏休みの過ごし方」の講演、「筆記試験対策講座」、履歴書・エントリーシート作成のための「文章力アップ講座」など、この夏の講座対象者には、ポータルサイトを通じてお知らせいたします。実習等、他の予定と重ならない場合は参加するよう、ご検討ください。

(キャリア支援課 荒川)

2023年度 大学・短大 キャリア支援・就職支援講座 フォロー講座（抜粋）					
実施日	曜日	講座名	内容（要）	対象など	実施方法
7/5	水	「夏休みの過ごし方」 （インターンシップについて）	リクナビによる夏のインターンシップについての講演	短期大学部・1年生 大学 1～3年生	LIVE配信
8/21	月	夏期・筆記試験対策講座①	※オズメンテック、SPICE7 Rの活用 試験対策の経験について ① 試験科目・試験種別 ② 試験時間 ③ 試験場	大学 2～3年生 短期大学部（1年生） ※ 単位取得済	LIVE配信
8/22	火	夏期・筆記試験対策講座②	④ 試験科目・試験種別 ⑤ 試験時間 ⑥ 試験場	※ 単位取得済 ※ 2023年度	LIVE配信
8/23	水	夏期・筆記試験対策講座③	⑦ 試験科目・試験種別 ⑧ 試験時間 ⑨ 試験場	※ 単位取得済 ※ 2023年度	LIVE配信
9/7	木	<1日目> 文章力アップ講座①	<要> 夏休みの過ごし方 自己PR作成	大学3年生 短期大学部1年生	LIVE配信
9/8	金	<2日目> 文章力アップ講座②	<要> 卒業生との対談 卒業生との対談	※ 単位取得済 ※ 2023年度	LIVE配信
		<3日目> 文章力アップ講座③	<要> 卒業生との対談 卒業生との対談		



## 留学生センターだより

### 新入生歓迎交流会開催

新しい学生スタッフ33名（日本人15名／留学生18名）とともに本年度も活動がスタートしました。コロナ規制が緩和され、コロナ禍前の事業形態に戻ることを基本に年間事業を計画しました。昨年好評だった楓祭への模擬店出店をはじめ、毎年1月に行っていた国際交流フェアを気候が良い7月8日（土）に時期を変更して開催します。また、昨年できなかった茶道教室に加え、日本の伝統工芸でもある竹細工教室を実施予定です。

皮切りは4月20日（木）に実施した新入生歓迎交流会です。昨



年度は感染防止のため芝生広場で行いましたが、本年度はコロナ禍前に戻り、新館1階ラウンジで行いました。新入生オリエン

テーションやチャペル後に学生スタッフがチラシなどを配り、当日は先生方も含めて40人ほどが集い、ゲームなどで交流・談笑し、楽しい時間を過ごしました。お昼休みという短い時間でしたので、コロナ禍前の参加人数には及びませんでしたが、交流の輪を少しずつ広げていけたと思います。



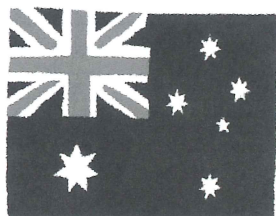
また、学生スタッフ新代表には人間社会学科2年の橋山幸佳さんと牧田玲奈さんが着任し、前代表の佐藤藍子さん、副代表の岩澤春奈さんを引き継いで活動をけん引してくれています。学内活動だけでなく、外部との交流や連携を活発化させ、本学の理念にふさわしい国際色豊かなキャンパスを目指します。

（留学生センター長 平井）

## 学部事務室

### 留学再開！

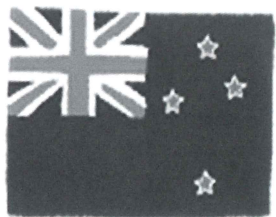
コロナ禍でも度々お問い合わせいただいていた海外留学がついに再開しました。2023年2月には1名の学生がニュージーランドへの3週間の短期留学に参加しました。また、2023年5月からは3名の学生が



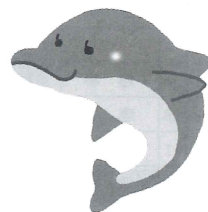
3か月間のオーストラリア留学に参加しました。2024年にも同様にニュージーランド留学、オーストラリア留学を企画しています。ニュージーランド留学は語学研修とホームステイが経験できます。

オーストラリア留学も語学研修と

ホームステイのほか、現地でのインターシップおよび、フレーザー島での熱帯雨林ツアーやモートン島でのドルフィン鑑賞などのオーストラリア・



フィールド・スタディーズも経験できます。どちらの留学も日本人現地アドバイザーがあり、ホームステイ先も無犯罪証明書提出のファミリーで安心して留学することができます。説明会は10月に実施予定ですので、皆さん是非参加してください。



### ポータルサイトが変わります！

8月下旬からポータルサイトが変更となります。9月からは旧ポータルサイトは使用ができなくなります。事前に旧ポータルサイトから、新サイトのURLをお知らせしていますが、見逃した学生は本学ホームページから新サイトにアクセスしてお気に入り登録等してください。なお、ID・パスワードは旧サイトから変更ありません。忘れてしまった場合は、学生証を持って学部事務室窓口までお越しください。

（学部事務室 小田）

### 後援会だより

2023年6月26日に、2023年度静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部後援会第1回理事会が開催されました。

理事の皆様にご5つの議案（2023年度役員選出、学校法人静岡英和学院評議員の推薦、静岡英和学院維持協力会役員の推薦、2022年度事業報告及び決算、2023年度事業計画及び予算）をご審議いただき、全てご承認いただきました。

後援会会則では、後援会の活動として、学生の厚生福祉及び奨学、施設設備助成、研究活動助成、地域社会への貢献促進を行うものとされております。

コロナウイルスによる多くの制限が緩和され、学生がより良い大学生活を過ごすことができるよう、大学後援会では今後もサポートを続けてまいります。

(総務課 倉田)

#### 2023年度 後援会役員名簿

(順不同)

No.	役職名	氏名	備考
1	会長	河岸 照美	(兼)維持協力会常任理事
2	副会長(理事)	川瀬 昌之	(兼)維持協力会常任理事
3	副会長(理事)	岩田 理香	
4	常任理事	松浦 好朝	
5	常任理事	大石 恵子	(兼)学院評議員
6	会計(理事)	新名 隆大	(兼)維持協力会会計
	会計	倉田 怜美	事務部総務課主事補
7	監事	桑原 えみ	(兼)維持協力会監事
8	監事	鈴木 佳奈子	
9	理事	桐原 健一	
10	理事	田宮 美穂子	
11	理事	原川 恭子	
12	理事	千野 有希子	
13	理事	中端 晃子	
14	理事	舟山 浩美	
15	理事	宮園 恭子	
16	理事	古谷 真由美	
17	理事	稲葉 静恵	新規役員
18	理事	大畑 由香	新規役員
19	理事	松坂 克世	新規役員
20	理事	山田 誠	新規役員
21	理事	横地 敦子	新規役員
	事務委員	松澤 重喜	事務部長
	事務委員	杉田 愛子	事務部総務課主任

#### 2022年度 決算書

収入の部計	76,365,024	円
支出の部計	22,984,435	円
翌年度繰越額	53,380,589	円

#### 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会費	27,000,000	28,680,000	△ 1,680,000	会費 年間@30,000円
利子等雑収入	200	316	△ 116	
預り金収入	0	0	0	
前年度繰越金	47,684,708	47,684,708	0	
計	74,684,908	76,365,024	△ 1,680,116	

#### 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
会議費	50,000	48,020	1,980	
役員会費	50,000	48,020	1,980	理事会等経費
事業費	26,260,000	22,895,289	3,364,711	
施設設備費	8,840,000	8,493,364	346,636	電機整備等(1,000,000円文化活動費から活用)
広報関係費	6,800,000	5,969,866	830,134	屋外広告(IR静岡駅・東静岡駅)等
会報発行費	120,000	99,022	20,978	学報英和ユニバース(年2回発行)
学生費	10,400,000	8,293,037	2,106,963	学内奨学金・卒業生へ記念品贈呈等
文化活動費	0	0	0	
慶弔費	100,000	40,000	60,000	
事務費	400,000	41,126	358,874	
事務費	30,000	0	30,000	
消耗品費	50,000	3,240	46,760	
通信運搬費	150,000	7,886	142,114	郵送料・振込手数料等
印刷製本費	100,000	0	100,000	
渉外費	70,000	30,000	40,000	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	0	100,000	
予備費	47,874,908	0	47,874,908	
計	74,684,908	22,984,435	51,700,473	

#### 2023年度 収支予算書

(2023年4月1日より2024年3月31日)

#### 1)収入の部

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会費	26,400,000	27,000,000	△ 600,000	会費 年間@30,000円 留学生・退学者等を除いた大学生数 880人を元に計算
雑収入	300	200	100	
前年度繰越金	53,380,589	47,684,708	5,695,881	
収入合計	79,780,889	74,684,908	5,095,981	

#### 2)支出の部

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
会議費	50,000	50,000	0	
役員会費	50,000	50,000	0	理事会等経費
事業費	24,520,000	26,260,000	△ 1,740,000	
施設設備費	7,870,000	7,840,000	30,000	環境整備、図書館後援用パソコン2台
広報関係費	6,000,000	6,800,000	△ 800,000	看板広告(IR静岡駅・東静岡駅)
会報発行費	120,000	120,000	0	学報「英和ユニバース」(年2回発行)
学生費	10,430,000	10,400,000	30,000	オアシス総合プログラム、学内奨学金
文化活動費	0	1,000,000	△ 1,000,000	
慶弔費	100,000	100,000	0	
事務費	400,000	400,000	0	
事務費	30,000	30,000	0	
消耗品費	50,000	50,000	0	
通信運搬費	150,000	150,000	0	郵送料・振込手数料等
印刷製本費	100,000	100,000	0	
渉外費	70,000	70,000	0	
未払金	0	0	0	
雑費	100,000	100,000	0	
予備費(翌年度繰越額)	54,710,889	47,874,908	6,835,981	
支出合計	79,780,889	74,684,908	5,095,981	

※科目間の流用を認める。



静岡英和学院大学  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201 FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 [info@shizuoka-eiwa.ac.jp](mailto:info@shizuoka-eiwa.ac.jp)

企画・編集 学報委員会